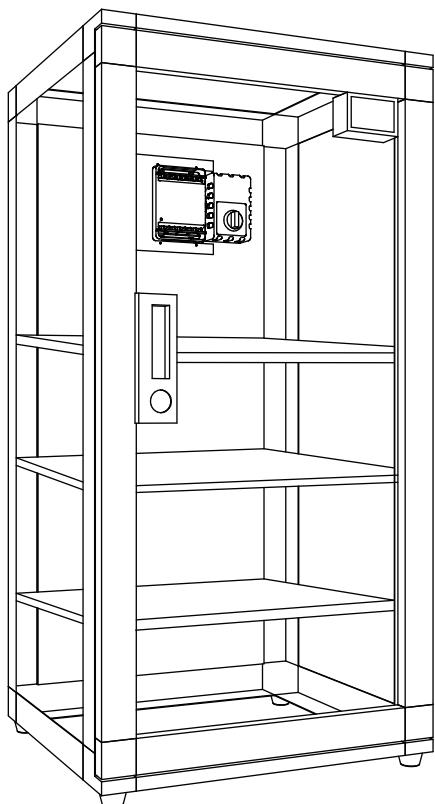


AUTO-DRY

オート・ドライ®

クリアーシリーズ PA-70・PA-120 取扱説明書

このたびは **オート・ドライ®** をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。
裏表紙の品質保証書に必要事項をご記入の上、この取扱説明書を大切に保管してください。

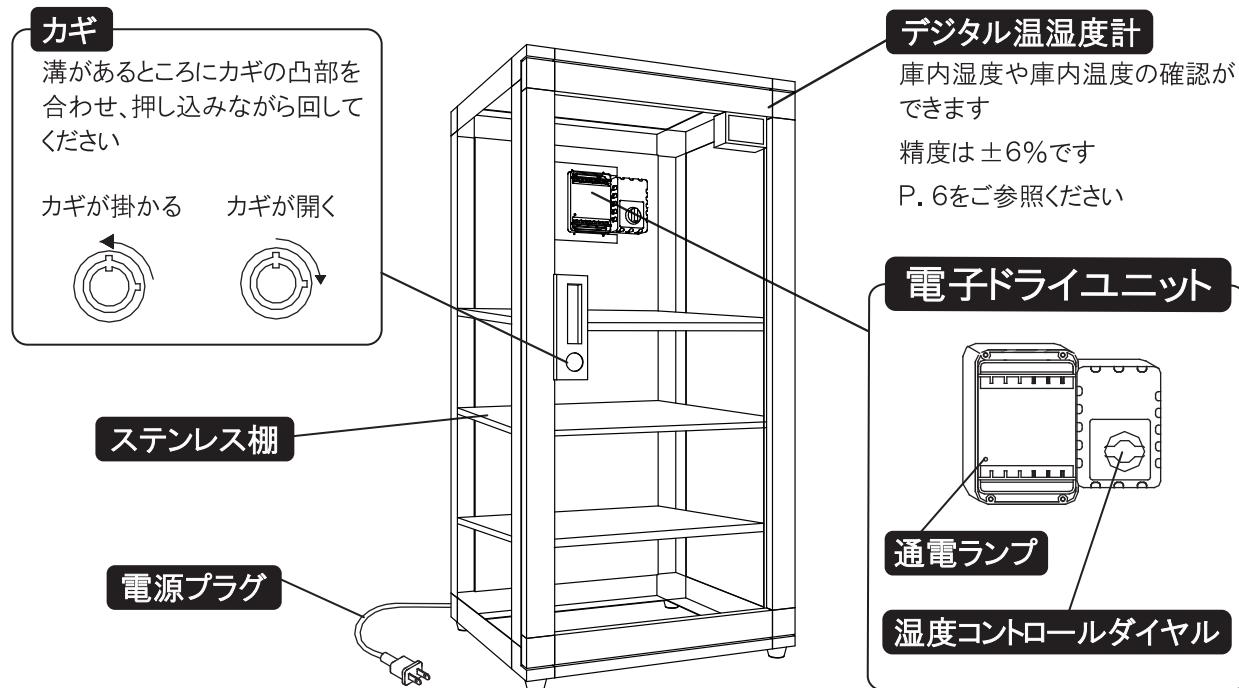


目次

● 各部の名称	1
● ご使用前の準備	1
● 棚押さえ金具の取り外しかた	1
● ご使用方法	2
● ご使用に関する注意点	2
● デジタル温湿度計の表示方法	3
● 仕様	3
● 故障かな?と思ったら	4
● 故障のときは	4
● 安全上のご注意	5
● 除湿運転のしきみ	6
● お手入れ	6
● 移動・運搬するときは	6
● 製品保証に関して	6

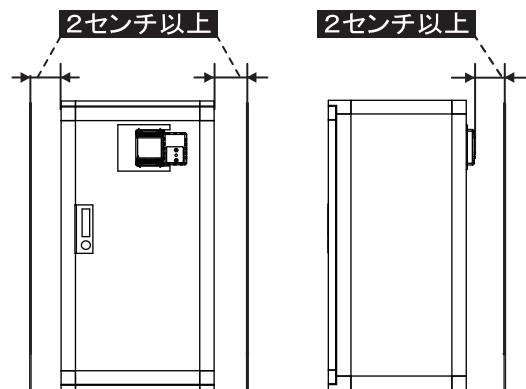
オート・ドライ 全自動電子
防湿保管庫 スーパードライ
〈形状記憶合金実用化第1号機〉

各部の名称



ご使用前の準備

- 水平で平坦かつ丈夫な場所に設置してください。
- 本機の左右と背面は2センチ以上 の間隔をあけてください。
- 本機の上方には十分な空間(5センチ以上)を設けてください。
- エアコンの風が直接当たる場所、熱器具の近くなど温度変化が激しい場所への設置は避けてください。
- 換気ができない狭い場所には設置しないでください。



棚押さえ金具の取り外しかた

棚押さえ金具は輸送中の棚板落下防止用です。

設置完了後、以下のように取り外してください。

取り付けたままでも特に問題はありません。

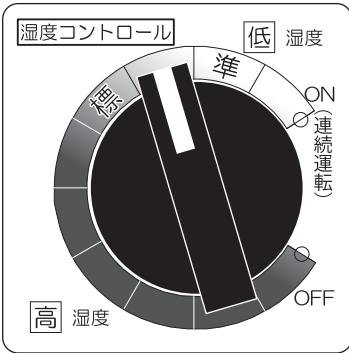
1. アジャスターを上から見て反時計回りに回してください。
2. アジャスターと棚板の間に隙間が生じましたら棚押さえ金具を取り外してください。



ご使用方法

1. 電源プラグをコンセント（AC100V）に差し込みます。
2. 電子ドライユニットのダイヤルを調節します。
 - ・中間湿度で保管する場合はまず「標準」の位置で半日から1日ほど空運転してください。
 - ・最低湿度で保管する場合は「ON(連続運転)」の位置でご使用ください。
3. 庫内の湿度が下がったら保管物を入れて使用してください。

温度を低くする場合 [低] の方向へ



温度を高くする場合 [高] の方向へ

温度コントロールダイヤルの設定

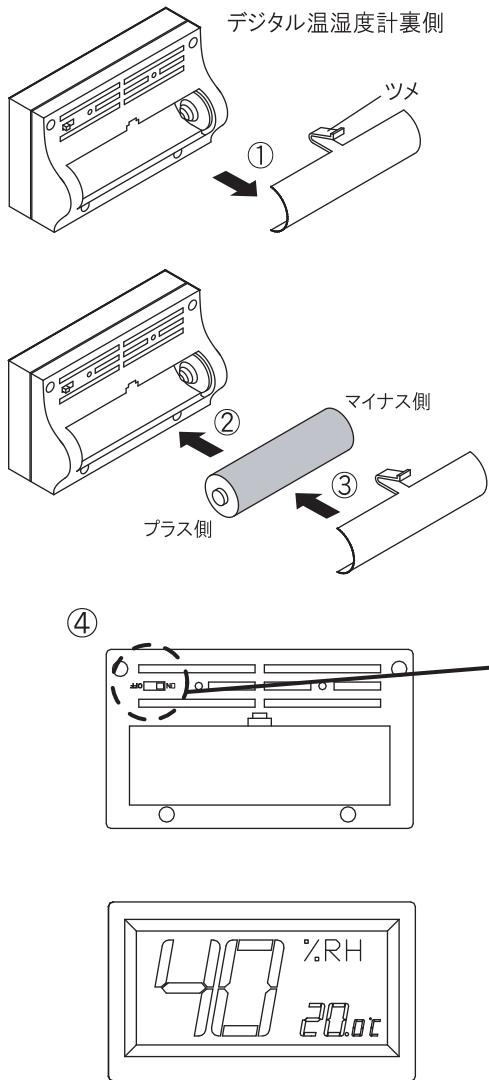
<p>[低] 湿度 … 温度を低くしたいときはダイヤルを低湿度側(時計方向)に回します。</p> <p>[高] 湿度 … 温度を高くしたいときはダイヤルを高湿度側(反時計方向)に回します。</p> <p>[標準] …… 30%～50%になります。 (若干の精度誤差があります)</p> <p>[ON] …… 連続して除湿運転をします。</p> <p>[OFF] …… 除湿運転は行いません。 (電源「切」)</p>

※ 庫内の容量・収納物の量・種類・季節や空調などによってダイヤルの位置と設定湿度は変わります。
状況に応じてダイヤルの位置を決定してください。

ご使用に関する注意点

- 保管物を庫内に入れるに一時的に庫内の湿度が上がる場合があります。
- 庫内の湿度が下がり安定するまでに1～2日かかる場合があります。
特に布類・紙類など水分を含んだ物を入れると、湿度が安定するまでに1週間以上かかる場合があります。
- 本機は乾燥機ではありません。また、多量に水分を含んだ物を乾燥する能力はありません。
濡れた物はよく水分を拭き取ってから保管してください。
- 電子ドライユニットが熱を持つことがあります異常ではありません。
- 乾燥剤の再生中やその直後は、設定した湿度より高くなることがあります。
- 加湿機能は搭載しておりません。
そのため外気の湿度が低い場合、設定値より湿度が下がる場合があります。
- 温度調節機能はありません。
- トップテーブルの凹部に物を置くことができますが、あまり重い物は置かないようにご注意ください。
- 週に一度は庫内の湿度が安定しているかを湿度計でご確認ください。

デジタル温湿度計の表示方法



① デジタル温湿度計の裏側にある電池ボックスのフタ上側のツメを押し下げながら、フタを取り外します。

② 単3電池を電池収納部へしっかりと入れてください。電池収納部に電池の向きが描かれていますので、間違えないようご注意ください。

プラス側 \oplus マイナス側 \ominus

③ 電池を収納した後、電池ボックスのフタを閉じます。はじめにフタの下側のツメ2箇所を入れてから上側のツメをカチッというまで押し込みます。

④ スイッチをONにすると液晶部に湿度と温度が表示されます。

スイッチのつまみをONへスライドしてください。
(出荷時はOFFになっています)

N
S → スライドする

【デジタル温湿度計に関する注意】

- デジタル温湿度計の精度は、30～50%RHのとき±6%RHです。
- 液晶表示はその特性上、数年で表示が薄れることがあります。
- また、付属の電池はテスト用ですので消耗が早い場合がありますのでご了承ください。

仕様

型名	PA-70	PA-120
温度コントロール	ダイヤル設定自動調整式	
内容量	70ℓ	120ℓ
重量	10kg	20kg
材質	本体・扉：アクリル板、アルミニウム	
定格消費電力	瞬間最大110W（加熱再生開始時 約1秒）	
平均消費電力	【連続運転時】1.9W/h=1.4kW/月 【30%運転時】0.5W/h=0.33kW/月 ※1 【30%運転時】1.2W/h=0.85kW/月 ※1	
棚耐荷重	20kg	
付属品	ステンレス棚 2枚 カギ 2個 デジタル温湿度計用単3電池(テスト用) 1本	ステンレス棚 3枚 カギ 2個 デジタル温湿度計用単3電池(テスト用) 1本

※1：当社にて無負荷で3日間運転した実測値です。

故障かな？と思ったら（修理をご依頼される前にご確認ください）

湿度が下がらない

● 電源プラグが抜けていませんか？

プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。

● 保管物を入れたばかりではありませんか？

多量に物を入れたり、吸湿しやすい物を入れると安定するまでに時間がかかります。

濡れた物は十分に拭き取ってから入れてください。

● 湿度設定が高めになっていませんか？

P.2「ご使用方法」の「温度コントロールダイヤルの設定」をご参照いただき調節してください。

湿度が下がりすぎる

● 庫外の湿度が低くないですか？

加湿機能は搭載していませんので、周囲の湿度が低いと設定湿度より下がることがあります。

湿度計の値がずれる

● 許容誤差範囲内ですか？

湿度計には ±6%RHの許容誤差があります。

● 冷暖房をしていませんか？

冷暖房による温度変化や昼と夜の温度差により庫内湿度は変化します。

（温度が上がると湿度は下がります。）

臭いがする

● 使い始めたばかりですか？

乾燥剤がさまざまな臭いの成分を吸い込み、乾燥剤を加熱した際に臭いが出ることがありますが、1~2日でなくなります。

通電ランプが消えている

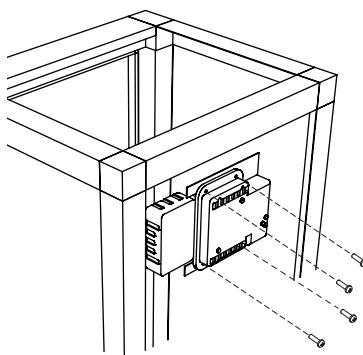
● 庫内湿度が設定した値以下まで下がっていませんか？

通電ランプは除湿動作中にのみ点灯します。

故障のときはサービス部(TEL:045-841-5511)にお電話ください

前記チェック項目をご確認いただき故障と思われる場合は弊社サービス部(TEL:045-841-5511)までご連絡ください。

電子ドライユニットの故障の場合、ほとんどが電子ドライユニットや湿度計のみの修理・交換で済みますので、お手数ですが電子ドライユニットと湿度計のみを弊社 那須工場にお送りください。



電子ドライユニット交換方法

1. 電源プラグを抜いてください。

2. 庫内側の板を押さえながら、キャビネット裏側からユニットを取り付けている外周4本のネジを外すと、湿度コントロールと一緒に取り外せます。

※ このとき庫内側の板も同時に外れますので、板を落とさないようご注意ください。

修理完了後、取り付けの際は上記の逆の手順で行ってください。

東洋リビング(株) 那須工場

〒329-3212 栃木県那須郡那須町富岡1230 - 107

TEL: 0287 - 72 - 5577

異常が発生した時はすぐに電源プラグをコンセントから抜いて
弊社サービス部(TEL:045-841-5511)にご相談ください。

安全上のご注意

誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。

△ 警告 死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの。

△ 注意 傷害又は家屋・家財などの損害に結びつくもの。

図記号の意味は、下記の通りです。

絶対に行かないでください。	絶対に分解・修理・改造はしないでください。
絶対に触れないでください。	必ず指示に従い、行ってください。
絶対に濡れた手で触れないでください。	必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

△ 警告			
電源コードを引っ張ったり、傷つけたり、物を載せたり、高温部に近づけない。	電源コードを束ねたまま使用したり、タコ足配線しない。	爆発物、可燃性物質、揮発性の引火し易いものは入れない。	上に乗ったり、重い物を載せない。
禁止	禁止	禁止	禁止
発火・感電の原因。	火災・発熱の原因。	爆発・火災・発火の原因。	けが・変形の原因。
吸気口・排気口に異物を入れない。	濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。	修理や分解・改造をしない。	水の入った容器を置かない。
禁止	濡れ手禁止	分解禁止	禁止
感電・けがの原因。	感電の原因。	火災・感電・けがの原因。	火災・感電の原因。
高所に置く時は壁や柱・床などに固定する。 (市販の固定具を使用してください)	交流100Vで15A以上のコンセントを単独で使用する。奥までしっかりと挿入する。	異常時(こげ臭いなど)には電源プラグを抜く。	水のかかるところや湿気の異常に多い場所に置かない。
固定する	指示に従う	プラグを抜く	禁止
けがの原因。	火災・発熱の原因。	火災・感電の原因。	火災・感電の原因。

△ 注意			
不安定な場所に置かない。 (ガタつくときはスペーサーなどで調整してください)	エアコンなどの風が直接当たる場所、温度変化の激しい場所、直射日光の当たる場所、ホコリの多い場所に置かない。	長期間使用しないときは電源プラグを抜く。	
禁止	指示に従う	プラグを抜く	
けがの原因。	製品本来の性能が出ない場合があります。	火災・発火の原因。	

除湿運転のしくみ

- 湿度コントロールダイヤルで設定した湿度より庫内の湿度が高くなると除湿運転を行います。除湿運転中は以下の(1)と(2)の動作を6時間毎に繰り返します。
除湿運転中のみ通電ランプが赤く点灯します。
 - (1) 乾燥剤を30分間加熱することで乾燥剤が吸収した湿気を庫外に放出し、乾燥能力を再生します。
 - (2) 乾燥能力再生後の5時間30分で庫内の湿気を電子ドライユニットに取り込み、乾燥剤に吸着させます。
- 庫内の湿度が設定した湿度以下になると除湿運転を停止し、通電ランプが消灯します。
- 再び設定湿度より高くなると通電ランプが点灯し、除湿運転の(1)と(2)を再開します。

お手入れ

- お手入れの前に電源プラグを抜いてください。
- 汚れは柔らかい布または化学雑巾で拭き取ってください。
- シンナー・ベンジン・磨き粉・洗剤等は製品を傷める可能性がありますので使用しないでください。
- 月に一度は電子ドライユニット本体に変色がないこと、背面の放熱口にホコリが溜まっていないことを確認してください。
- 電源コードに亀裂や擦り傷がないことを確認してください。
- 電源コードやコンセントにホコリが溜まっていることを確認してください。
- 10年を超えてご使用いただく場合は、安全のため確認頻度を増やしてください。

移動・運搬するときは

- 庫内に入っている物をすべて取り出してください。
- 電源プラグを抜いてください。
- 棚を取り出してくださいか、棚や扉をテープで固定してください。

製品保証に関して

- 正しくご使用いただいているにも関わらず保証期間中に製品に不具合を起こした場合、無料で製品の修理をいたします。
- 修理の際は弊社 那須工場宛に送付いただきます。ほとんどの場合、湿度計や電子ドライユニットのみの修理・交換で済みますので部品単体を送付いただくことになります。
電子ドライユニットの取り外し方法は、P.4の「電子ドライユニットの交換方法」をご参照ください。
- なお、誠に恐れ入りますが不具合により生じた保管品の損害に関しては保証対象外とさせていただきますのでご了承ください。
- デジタル温湿度計の保証期間は3年です。
- 付属の電池はテスト用です。保証期間内に寿命となることがあります、無償保証の対象にはなりません。

電子ドライユニットは5年間の無償保証です